

日本国際連合学会第 22 回（2021 年度）研究大会プログラム

共通テーマ：「持続可能な開発目標（SDGs）の現在」

2020 年春から生じた COVID-19 のパンデミックは、国際社会に様々な影響を及ぼした。WHO を中心とした感染症対策や公衆衛生の問題だけにとどまらず、世界的な感染者と犠牲者数の増大は人間の安全保障を脅かし、人々に対する行動制限が人権保障との緊張関係をもたらしている。EU 圏内ですら国境封鎖が行われ、各国は渡航制限を行い、先進国を中心に医薬品の国内備蓄を進め、国際協調から遠ざかる潮流が世界的に強まった。コロナ禍で初めてオンライン開催された 2020 年 9 月の国連総会では、グテーレス事務総長が結束と連帯を呼びかけるものの、コロナ以前の多国間主義への回帰に至るかは未だ不透明である。

本年度の研究大会の共通テーマは、コロナ禍で開催中止を余儀なくされた昨年度の共通テーマを引き継いだ。SDGs は周知の通り 2015 年に採択され、2030 年までに取り組む 17 の目標を定めたものであるが、COVID-19 のパンデミックがその取り組みにいかなる影響を与えたのか、ポストコロナの世界を見据えながら、2030 年までの目標に向けた課題について多方面から議論を深めたい。

【日時】

2021 年 6 月 19 日（土）15 時～18 時 / 20 日（日）9 時 30 分～13 時 30 分

【会場・開催方式】

ヴァーチャルホスト校：長崎大学・オンライン（Zoom）

- * あらかじめ参加登録した会員および登録が承認された非会員参加者へアクセス用 URL を提供。ただし、非会員には総会へのアクセス権限はありません。

<第 1 日：6 月 19 日（土）>

1. 15:00～15:10 <<開会挨拶>>

神余 隆博（日本国際連合学会理事長、関西学院大学教授、国連・外交統括センター長）

15:10～15:15 <<開会の辞：ホスト校挨拶>>

河野 茂（長崎大学学長）

2. 15:15～16:15 <<基調講演>>

基調講演者：水鳥 真美（国連事務総長特別代表 防災担当 兼 国連防災機関長）

「地球の強靱性の向上、仙台防災枠組の実施と SDGs の達成
—あらゆる災害の予防にむけて」

司会：神余 隆博

3. 16:15～18:00 《パネルディスカッション》

「地球の健康とレジリエンス強化と SDGs の達成—あらゆる災害と紛争の予防にむけて」

司会・モデレーター：猪又 忠徳（日本国際連合学会理事）

パネリスト：水鳥 真美（国連事務総長特別代表 防災担当 兼 国連防災機関長）

南 博（外務省広報外交担当大使 兼 内閣官房健康・医療戦略室次長）

渡辺 知保（長崎大学教授、前国立環境研究所理事長）

勝間 靖（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

<第2日：6月20日（日）>

1. 9:30～11:10 《研究報告》

(1) 9:30～10:20 「軍縮・核廃絶・安全保障への長崎の視点

—Bottom Up 型、Leave No One Behind 型アプローチ」

報告者：吉田 文彦（長崎大学核兵器廃絶研究センター教授）

討論者：田上 富久（長崎市長）

司会：広瀬 訓（長崎大学核兵器廃絶研究センター教授）

(2) 10:20～11:10 「グローバル・ヘルスガバナンス展望

—コロナがもたらした課題にいかに対処すべきか」

報告者：詫摩 佳代（東京都立大学法学部教授）

討論者：勝間 靖（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

司会：菅原 絵美（大阪経済法科大学教授）

2. 11:15～12:25 《若手独立報告》

報告者：田中 極子（国際基督教大学社会科学研究所研究員）

「安保理決議 1540 国内履行における『非国家主体』」

報告者：市野 紗登美（長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科戦略職員、

外務省国際協力局国際保健政策室出向中）

「COVID-19 禍の情報伝達における国連機関の役割

—インフォデミック禍における『正しい知識』の伝達」

司会：佐俣 紀仁（武蔵野大学准教授）

3. 12:25～12:35 閉会

閉会の辞：門司 和彦（長崎大学多文化社会学部長）

4. 12:40～13:30 総会（会員のみ）

【オンライン参加方法】

1. 研究大会の一週間前を目処に学会事務局から研究大会で使用する Zoom の事前登録用 URL を学会のメーリングリストを通じて送信しますので、URL をクリックして登録してください。登録の際には、下記の例を参考にしてください。
名：氏名を記載 姓：（所属）
※上記は Zoom ミーティングの画面上で参加者リストに表示されます。
メールアドレス
※会議室への入室に必要なリンクを受け取るメールアドレスを記載してください。
所属 学会員ですか？（「はい」又は「いいえ」を選択）
※上記は出席者名簿作成のために記入にご協力ください。
2. 今回の研究大会では Zoom ミーティングを用います。ウェビナーとは異なり参加者名が一覧表示されますので、予めご承知おきください。非会員の傍聴希望者にも事前登録の上で無料開放いたします。
3. 質疑応答の場面を除いて、通常のミーティング時はビデオ（カメラ）とマイクは OFF にしておいてください。質疑応答は、次のいずれかの方法を視聴環境に合わせて選択してください。（1）挙手機能を使って挙手し、セッションの司会者が指名してからカメラとマイクを ON にして発言する。（2）チャット機能を利用し、参加者全員に質問内容がわかるように文章で投稿する。時間の関係ですべての質問への応答ができない場合がありますので、予めご了承ください。
4. 学会に登録しているメールアドレスの変更を希望される方は、学会事務局 <jauns2013@gmail.com>までご連絡ください。また、事前に Zoom の操作方法等を試したい方も、事務局までご連絡いただければ日程調整の上で対応させていただきます。

【配付資料提供方法】

研究大会の一週間前を目処に日本国際連合学会のウェブサイト上に資料ダウンロード用の研究大会プログラムを掲載しますので、プログラムに記載の報告者名の下にある URL をクリックし、パスワードを入力して資料のファイルを開いてください。総会の資料は総会用の Zoom ミーティング内で提供いたします。ファイルを開くのに必要なパスワードは、Zoom の事前登録用 URL とともに学会事務局からメーリングリストにより通知しますので、会員以外の者への転送や外部への公開は控えてください。事前登録した非会員傍聴者には、長崎大会事務局から個別に通知を行います。

【非会員の傍聴登録受付】

長崎大会事務局<sghssnagasakiuniv@gmail.com>まで氏名、所属、メールアドレス（Zoom の事前登録用 URL 通知先）を明記して事前に傍聴の申込みをしてください。今回の研究大会は総会を除き無料でご視聴いただけます。ただし、非会員の傍聴者人数には上限があるため、上限に達した場合、傍聴できない場合がございますので、予めご了承ください。